

## 南あわじ市過疎地域持続的発展計画(案)に対する意見と本市の考え方

◆意見公募期間 令和3年7月12日(月)から令和3年7月26日(月)まで

◆意見提出状況 意見提出者 2名 意見提出数 2件

意見書 番号	意見の概要	項目	該当 ページ	意見に対する本市の考え方
1	福良から若い人の人口減、それを食い止めるには？津波被害による不安材料を少しでもなくせば住みよい町、住んでみたい町になる。その為にはバイパスまで逃げる道。車が通れる道を福良の町中に2ヶ所確保できない！ではなく、どうすれば出来るかを早急に話し合ってほしい。”生きる為の道”を”よろしく”お願いします。	5. 交通施設の整備、交通手段の確保	21	人口減少は本市にとって大きな課題であることから、ご指摘の「住みよい町、住んでみたい町」にも繋がるよう本市としても総合計画や総合戦略、施政方針等に基づき各種事業を展開しているところです。また、南海トラフ地震対策についても重要施策として位置付けているところです。 ご指摘いただきました「福良の町中にバイパスまで逃げるための車道を2ヶ所確保」とのことにしましては、南海トラフ地震などの際には車両での避難ではなく徒歩での避難をお願いしているところではあるものの、過去の協議経緯も踏まえつつ、引き続き危機管理部及び産業建設部において事業可能性について検討いたします。
2	過疎地域となった背景には様々な理由があるとは思いますが、対象地区となっている西淡・南淡においては、南海トラフ大地震時に津波災害が想定される地域でもあります。「土砂災害や津波災害に対する防災インフラ」に関する項目がなぜ、ひとつも含まれていないのでしょうか？道路の補修だけではなく、避難路や避難棟などの新設も、安心安全な町づくりを目指すことで過疎対策に繋がるのではないのでしょうか？ 過疎脱却に向け、一番大切な「命に関わる防災対策」に力を入れていないことに疑問を感じます。	5. 交通施設の整備、交通手段の確保	21	ご指摘いただきました南海トラフ大地震等に係る防災対策については、本市としても最重要施策の1つとして位置づけており、総合計画、総合戦略、施政方針等において、その施策について記載し、取り組みを進めているところです。 ご指摘のように安全・安心なまちづくりを目指すことも過疎対策に繋がるとの観点から、過疎地域持続的発展計画に南海トラフ地震対策に係る防災インフラについての記載を検討いたします。